

猫プーにおいてよー癒しの生涯学習ー

猫プーには全国各地から見学者が来る。そういう人たちはメンバーは「気楽に遊びにおいてよー」と歓迎する。「来る者拒まず、去る者追わず」のネットワークである。最近はMXテレビの取材まであった。各地の一般の青年教室が思いもつ

「じゃない」と居直ってしまっているところに猫プーの特徴がある。一人ひとりの自由なプーター精神と、今あるがままの自分を認め合う肯定的な雰囲気、猫プーの特徴である。

かなかった新しい学習テーマに取り組んでいるわけではない。むしろ、「活動内容なんて、楽しければいい

の「一年に一回来ればメンバード」「いい加減は良い加減」という「お約束」を聞けば、多くの人は「それなら行ってみたい」と思う

はずだ。これに対して、従来の教育は、成長ばかりに関心をもち、人びとをガンバリズムに追いやって来た。いま、若者や現代人が求めているのは、自分らしくいられるときと場、すなわち居場所であり、これを創り出すひとのネットワーク、すなわち異質同士の水平な交流である。それがあってこそ、自発的に成長に向かう元氣だってわいてくる。

ぼくはこれを「癒しのサンマ」(心を開いて交流できる時間・空間・仲間の3つの「マ」と呼んで、いま、そのサンマづくりに夢中になっている。

(参考) 自著『癒しの生涯学習ーネットワークのあじわい方とはぐくみ方ー』(学文社)

狛江市中央公民館青年教室「猫プー」年間講師

昭和音楽大学短期大学部
助教授 西村 美東士